

## 令和4年度総会の開催

令和4年度通常総会を、令和4年5月23日(月)にTKPガーデンシティ千葉において開催し、82団体130名に御出席いただきました。全ての議案が承認され、当協議会の事業期間を10年間延長(※)することが決定されました。※【延長後の事業期間】令和15年3月31日まで

総会では、当協議会の活動の最終年度を迎えるにあたり、コロナ禍からの回復を促進する局面にある現状や第3滑走路の供用、圏央道県内区間の全通といった空港周辺環境の更なる変化等を踏まえ、令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画案とともに、活動期間の延長について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

会員の皆様をはじめ、御協力いただいた皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の延期や縮小などがあったものの、感染防止策を講じたうえで各種事業を展開しました。

今年度は、第2期の最終年度として、必要性・合理性の認められる事業について、展開を図ってまいります。事業の実施にあたりましては、ウィズコロナやアフターコロナを見据えた新たなビジネス展開や注目が高まっているSDGsや脱炭素社会などの視点も取り入れながら、会員相互の連携・協働体制の構築・強化を図ってまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。



挨拶する佐久間会長（(一社)千葉県商工会議所連合会会長、千葉県経済同友会代表幹事）



挨拶する熊谷特別顧問（千葉県知事）

## 第1回県内経済活性化ビジネスセミナーの開催

当協議会では、会員ニーズを踏まえたセミナーを実施しているところです。

このたび、令和4年度総会の後、ちばSDGs推進ネットワークとの共催で、「脱炭素」をテーマとしたセミナーを開催しました。

セミナー冒頭、水野参与（榊ちばぎん総合研究所 取締役会長）から、「協議会事業期間が10年延長される間のインフラ整備等の動き」「SDGsや脱炭素への取組みが今後必須となること」等を内容とした挨拶がありました。

### 講演の概要

#### ●第1部 持続可能な航空燃料(SAF)の導入促進に向けた取組み

講師:国土交通省 航空局 航空戦略室 カーボンニュートラル推進室 室長 岡 建典 氏

- ・航空分野における脱炭素化の国際的な目標として、1. 燃料効率を毎年2%改善、2. 2020年以降総排出量を増加させないとしている。
- ・国内の取組方針としては、2030年に本邦航空会社の燃料利用のうち10%をSAF※とする目標を設定。  
※SAF（持続可能な航空燃料）：廃食油、サトウキビなどのバイオマス燃料や、都市ごみ、廃プラスチックを用いて生産される。ジェット燃料と比較して約60~80%のCO<sub>2</sub>削減効果がある。
- ・航空分野では、SAFの利用が、CO<sub>2</sub>削減に最も効果が高いとされており、今後は利用が必要不可欠。
- ・千葉県内のSAF製造の動きの事例として、出光興産千葉事業所（市原市）や丸紅（※検討段階）を紹介。

#### ●第2部 成田空港における脱炭素化に向けた取組み

講師:成田国際空港株式会社 経営企画部門 経営計画部 サステナビリティ推進室 マネージャー 片岡 祥 氏

- ・成田空港の全ての関係者とともに気候変動に対応していく方向性を示す「サステナブルNRT2050」において、NAAグループではCO<sub>2</sub>削減目標を2050年度目標（長期）ネットゼロ、2030年度目標（中期）2015年度比で30%削減するとしている。
- ・脱炭素に向けた新たな取組みとして、再生可能エネルギーの導入促進、SAFの導入推進等がある。

成田空港活用協議会 担当：木内  
ニュースレターに対するお問い合わせ  
TEL：043-306-2411  
MAIL：info@nrt-promo.jp

当協議会の活動内容などは、HPを御参照ください。

URL：https://www.nrt-promo.jp/

※HPの会員専用ページにニュースレターを掲載しています。

### 事務局から

ニュースレターでは、会員団体の活動なども幅広く発信したいと考えておりますので、掲載希望の情報がありましたら、事務局へお気軽にご連絡ください。